

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	東京家政大学かせい森の放課後等デイサービス「つくし」		
○保護者評価実施期間	令和6年12月2日		～ 令和6年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	62名	(回答者数) 56名
○従業者評価実施期間	令和6年12月2日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の連携が取れており、計画に沿った適切な支援の提供ができています。	<ul style="list-style-type: none"> 毎日、活動前にプログラムの内容を確認し、児童の様子についての情報交換を密に行っている。 活動終了後の振り返りを職員全体で行い、児童の変容等を具に確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> スキルアップのために職員、指導員間での研修等を進めていく。
2	保護者同士の交流の機会があり、療育の参観が日々可能である。	<ul style="list-style-type: none"> 毎日、療育の様子について指導員から保護者に伝えていく。 保護者同士が不安や悩み等を話せる場(チャット相談)を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「チャット相談」の充実。 活動終了後の保護者へのアドバイスの時間確保。
3	事業所の設備・スペース等が充実しており、生活空間は、子どもにわかりやすい構造化された環境になっている。	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリーに特化した室内の構造・施設、また、ユニバーサルデザインを意識した子どもに分かりやすい提示・掲示等の工夫を施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常点検、定期点検を確実に行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境・体制整備について、特性に応じた充実した支援を進めるには、職員の配置がやや不足している場面が見られる。	<ul style="list-style-type: none"> 絵画造形コースは、入所希望者が多い。また、個々に取り組む課題が異なるため、よりきめ細やかな支援が必要となる。 運動コースは、活動場が大学体育館を利用しているため、指導員の目が届きにくい点もみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 通年で学生ボランティア等の人材資源を活用する。 先を見通して児童の受け入れを調整する。
2	保護者への説明等に関して、定期的な通信等の発行・HPやSNSの活用等による情報発信については、改善が必要である。また、家族等が参加できる研修会の開催等が滞りがちである。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者による送迎のため、保護者と接する機会が多く、必要に応じて情報を伝達している。 	<ul style="list-style-type: none"> HPについては、定期的に見直し、更新を進める。 保護者の要望に応じて、ペアトレ等の研修の機会を構築する。
3			